

丹羽鑄造株式会社

岐阜県関市

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

ポイント

IT を駆使した生産管理とタイムリーな生産実績を収集。作業ポイントを見える化し、自動化・省人化を実現

- IT を駆使して生産性向上を図り、鑄物業界内で先導的に自動化・省人化を実現
- 生産情報と財務情報を一元的に管理した独自システムを構築し、業務効率化を実現
- 短納期化、需要拡大に対応するため海外市場への展開を積極的に進めている

企業基本情報

所在地	岐阜県関市のぞみヶ丘 11-1
電話/FAX	0575-21-6028/0575-21-6031
URL	http://niwachuzo.co.jp/
代表者	代表取締役社長 丹羽 龍
設立	1960年
資本金	2,800万円
従業員数	125人



会社概要

同社は油圧関連部品の鑄物メーカー。内部構造が精密で複雑な小物部品（1～5kg程度）の製造を強みとする。同社の油圧機器用鑄物は、最終製品として建機、農機、自動車、一般機械等、幅広く使用されている。職人的なイメージの鑄造業からの脱皮を目指し、「設備・人材・ITシステム」を3本柱として改善を推し進め、「付加価値と難易度の高い製品への特化」、「検査の充実による高品質の確保」、「安定経営のための売上シェアの分散」を実現し、継続的な売上、利益拡大を実現。



会社外観

革新的な製品開発や創造的なサービスの提供に関する取組の内容

IT を駆使して生産性向上を図り、業界内で省人化を先導

独自のコンピューターシステムを早くから導入し、生産ラインにおいて、製品情報のほか、作業ポイントの見える化と技術の蓄積に取り組んでいる。日々のデータは品質管理だけでなく、生産実績や製品の仕掛状況、在庫状況にも活用しており、受注量の変化等にも柔軟に対応できる体制を構築している。また、省人化、自動化に対応している独自の仕様にカスタマイズした鑄造ラインを導入しており、安定的かつ高品質な製品の提供を実現させている。



システム概要

独自システムを構築し、業務効率化を実現

同社では生産現場におけるデータの見える化に加え、経営指標・経理・財務情報などを一元管理している。具体的には「NTS業務管理 (NIWA TOTAL SYSTEM)」と名付けたシステムを活用し、受注、仕入れ、生産計画、作業標準、入金、支払いまでのすべてのプロセスを一元処理、管理できる体制を構築。経営者の率直的な取組を通じて、社内にも積極的にITシステムを活用する意識が醸成され、ITをツールとして最大限活用し、業務効率化に繋がっている。



自動注湯機

短納期化、需要拡大にも対応可能な海外市場への展開

2016年1月、東南アジア全体の需要をカバーしていくための新たな生産拠点として、ベトナム工場の操業を開始。取引先の現地調達への対応、現地企業向けの短納期への対応を図るため、東南アジアの生産拠点としてベトナムへの海外展開を実施。自動車分野等の特定メーカーに依存しないで、幅広い産業分野におけるメーカーと取引を実施。また複雑形状の小物部品で、各メーカーの現地調達率の向上に寄与している。既にベトナム、タイ、インドネシアの日系メーカーとの取引が始まっている。



自動化鑄造ライン